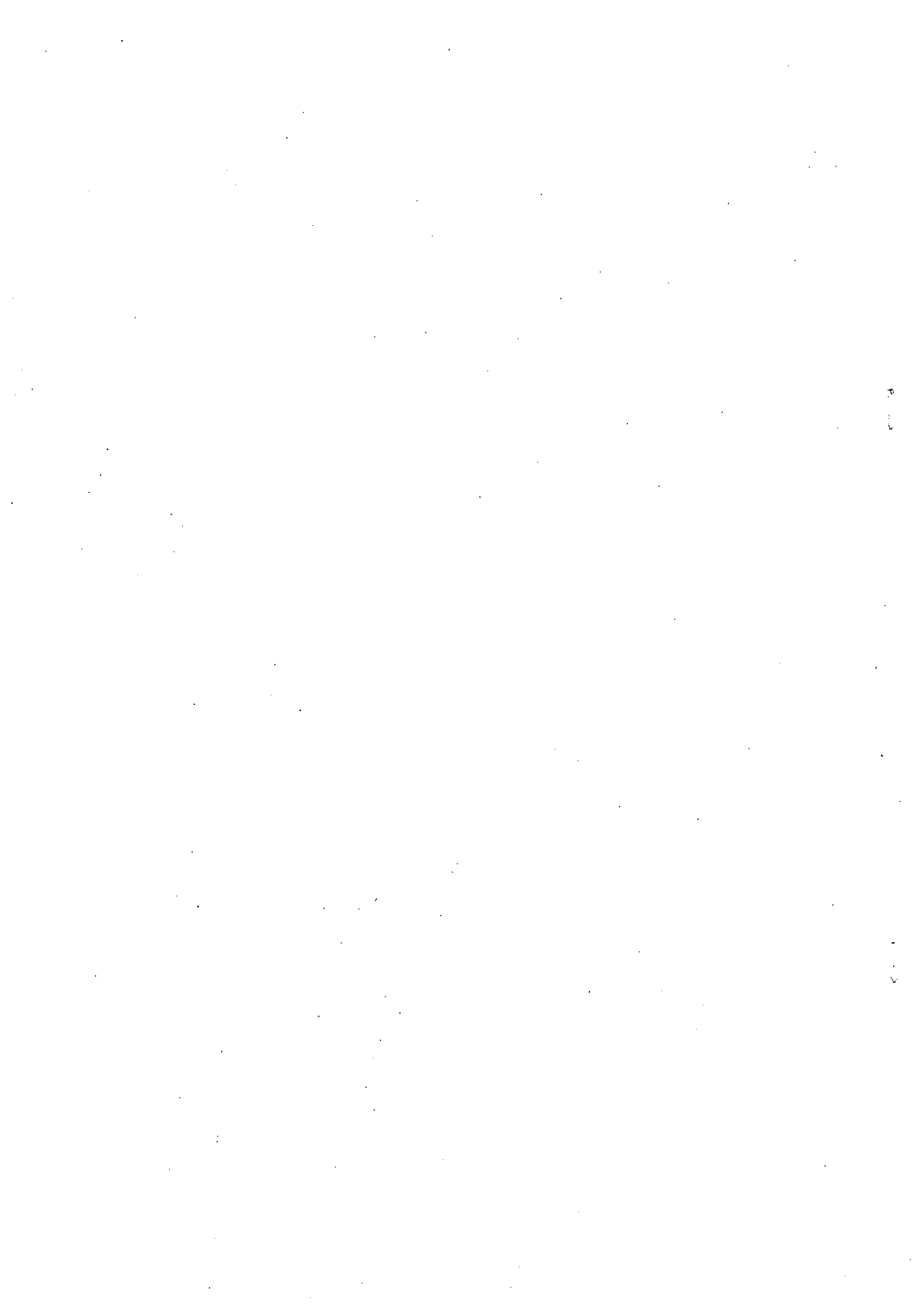


平成27年度鳥取県営病院事業

決算概要説明資料

病 院 局



平成27年度鳥取県営病院事業決算概要

病 院 局

1 概 要

- 病院事業全体の純損益は、6年連続で黒字となった。
- 経営状況を判断する経常損益は、中央病院は14年連続、厚生病院は6年連続で黒字となった。
- なお、厚生病院は、平成26年度の会計基準見直しによる「退職給付引当金(※)」を特別損失に計上したことにより若干の純損失を計上した。
- 累積欠損金は病院事業全体で72億円から63億円の減少した。

2 収益的収入及び支出

(単位：百万円 (税抜))

区 分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	差 引 (A)-(B)	主 な 増 減 理 由
病院事業収益	21,263	20,426	837	
中央病院	13,951	13,480	471	
厚生病院	7,312	6,946	366	
医業収益	18,479	17,421	1,058	○入院及び外来収益の増
医業外収益	2,655	2,945	△ 290	○新会計基準移行処理に伴う減 (△281百万円)
特別利益	129	60	69	
病院事業費用	20,381	20,139	242	
中央病院	13,017	12,751	266	
厚生病院	7,364	7,388	△ 24	
医業費用	18,805	18,127	678	○給与費の増 (504百万円) ○材料費の増 (285百万円)
医業外費用	874	841	33	
特別損失	702	1,171	△ 469	○新会計基準移行処理に伴う減 (△463百万円)
経常損益	1,455	1,398	57	※経常損益 = (医業収益 + 医業外収益) - (医業費用 + 医業外費用)
中央病院	1,180	1,319	△ 139	
厚生病院	275	79	196	
純損益 (収入 - 支出)	882	287	595	※純損益 = 経常損益 + 特別利益 - 特別損失
中央病院	934	729	205	
厚生病院	△ 52	△ 442	390	
その他未処分利益 剰余金変動額	0	1,569	△ 1,569	○新会計基準移行処理に伴う減 (△1,569百万円)
中央病院	0	1,215	△ 1,215	
厚生病院	0	354	△ 354	
累積欠損金 (当年度未処理欠損金)	△ 6,346	△ 8,018	1,672	
中央病院	△ 2,021	△ 3,185	1,164	
厚生病院	△ 4,325	△ 4,833	508	
議決による 資本剰余金処分別	1	790	△ 789	○新会計基準移行処理に伴う減 (△789百万円)
中央病院	1	230	△ 229	
厚生病院	0	560	△ 560	
資本剰余金処分後 累積欠損金	△ 6,345	△ 7,228	883	
中央病院	△ 2,020	△ 2,955	935	
厚生病院	△ 4,325	△ 4,273	△ 52	

※退職給付引当金：年度末に全職員が自己都合により退職すると仮定した場合に必要な退職金を総務省の取扱例に従い特別損失として5年分割で計上するもの

3 資本的收入及び支出

(単位：百万円 (税込))

区 分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	差 引 (A)-(B)	備 考
資 本 的 収 入	1,700	1,519	181	
企 業 債	871	544	327	建設改良費に充当
負 担 金	785	730	55	企業債償還金に充当
固 定 資 産 売 却 代 金	8	0	8	
補 助 金	36	245	△ 209	
資 本 的 支 出	2,610	2,015	595	
建 設 改 良 費	1,263	646	617	
企 業 債 償 還 金	1,347	1,369	△ 22	
収 入 一 支 出	△ 910	△ 496	△ 414	
中 央 病 院	△ 565	△ 241	△ 324	
厚 生 病 院	△ 345	△ 255	△ 90	

■主な整備事業

【中央病院】

<建替整備事業>

- 基本・実施設計業務委託：平成26年10月～平成28年5月（部分払88百万円）
- 駐車場先行整備工事：平成27年2月～平成27年10月（91百万円）
- 埋蔵文化財発掘調査関連工事：平成27年1月～平成28年12月（364百万円）

<医療機器整備事業251百万円>

- 血液ガス・電解質分析システム8百万円、眼科用レーザー光凝固装置15百万円ほか

【厚生病院】

<病棟病室療養環境整備事業108百万円>

（2工区：平成27年2月～6月、3工区：同年7月～11月）

<医療機器整備事業245百万円>

- 一般撮影用FPD装置86百万円、放射線動画システム25百万円ほか